

2026年 日本における国産大規模 言語モデル（LLM）の採用状況

フロンティア開発競争から「社会実装」への戦略的
戦略的転換と市場ランドスケープ

日本は深刻な労働力不足を背景に、 LLMを「インフラ」として社会実装する独自路線を確立した



構造的な社会課題

少子高齢化による深刻な労働力不足。
生産性を飛躍させるインフラとしての
AIが急務。



フロンティアより「社会実装」

海外の巨大モデルと正面衝突せず、
軽量・特定ドメイン・セキュアな国内
ニーズに特化。

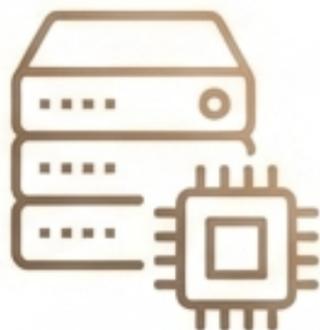
1兆円超

2026年 生成AI市場予測規模

43.4%

2026年時点の日本企業における生成AI
導入率（2024年の25.8%から急拡大）

国家戦略の両輪：計算資源の提供と 大規模な公共調達が市場を牽引する



[経済産業省]

GENIAC プロジェクト



国内の基盤モデル開発力向上を目的とした大規模な計算資源の提供。



さくらインターネット、ABEJA等による強力なインフラ支援が開発スピードを加速。



[デジタル庁]

ガバメントAI「源内」



セキュリティと信頼性を最重視した国産LLMの積極採用と公共分野への展開。



行政業務の効率化を推進し、2026年以降は他府省庁へ本格展開を予定。

2026年の市場モメンタム：エンタープライズ領域での導入が本格的な普及期へ突入



1兆円突破

2026年の国内生成AI市場規模は
予測を上回り1兆円の大台へ



日本企業全体の 生成AI導入率

(2024年の25.8%からわずか2年で
急激に拡大)



金融セクターにお ける導入率

厳密なセキュリティ要件が求められ
る金融業界が市場を強力に牽引

国内主要プレイヤーは独自の強みを活かし、 多様なビジネスニーズに対応する

NTT

tsuzumi

-  軽量・高効率な設計
-  特定ドメイン適応に優位性
-  セキュアなオンプレミス運用

NEC

cotomi

-  金融・自治体での豊富な実績
-  図表・文書の高度な文脈理解機能

SoftBank

Sarashina

-  大規模計算基盤 (SB Intuitions)
-  企業向けAPI提供開始
-  クリスタル・インテリジェンス構想

Fujitsu

Takane

- デジタル庁等、公共分野に強み
- 世界トップクラスの日本語処理能力

Preferred Networks (PFN)

PLaMo

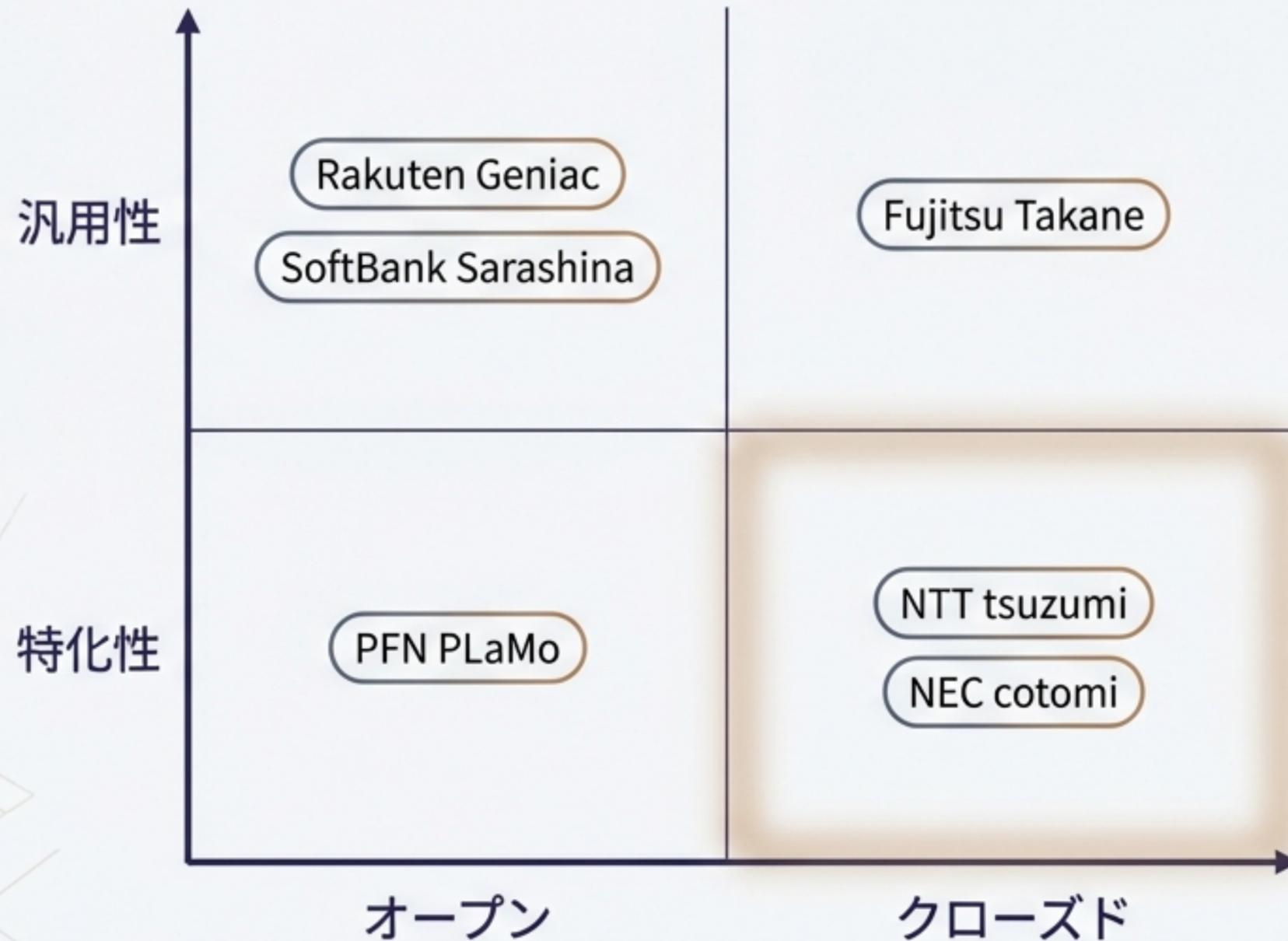
- 翻訳・金融特化など多様な展開
- フルスクラッチでの国内独自開発

Rakuten

Geniac

- 国内最大級7,000億パラメータ
- オープンな研究開発の推進とエコシステム貢献

戦略ポジショニング：グローバルモデルとの直接競争を避け、 特化型・閉鎖型領域で優位性を築く



“巨額の資本を投下する海外巨大モデルに対し、日本企業は右下（特化型×クローズド）のエンタープライズ需要を的確に捕捉している。”

国内モデルが選ばれる4つの核心的差別化要因



1. 日本語性能の追求

複雑なニュアンスや文化的背景の深い理解。行政・ビジネス文書特有の言い回しへの的確に対応。



2. データ主権とセキュリティ

オンプレミス環境での完全運用。機密情報を外部に出せない金融・政府機関の必須要件。



3. 特定ドメインへの特化

汎用モデルでは達成できない高い精度。翻訳特化や金融特化型モデルが市場を牽引。



4. コスト効率と軽量化

少ない計算資源で動作する軽量設計。導入ハードルを極限まで下げ、大企業から中堅・中小企業への普及を促進。

産業別採用事例（1/2）：データ主権が最重視される公共・金融セクターでの実装

【公共・政府】



- PFN「PLaMo翻訳」：ガバメントAI「源内」に採用され、行政文書の翻訳業務を劇的に効率化。



- Fujitsu「Takane」：デジタル庁でのパブリックコメント意見集約業務のパイロット運用に成功。



- NEC「cotomi」：神戸市や大阪市等の自治体で申請書作成支援や庁内問い合わせに対応。

【金融】



導入率70.7%の最先端セクター。厳密なセキュリティを背景に、メガバンクが独自のLLM活用やスタートアップ連携を推進。



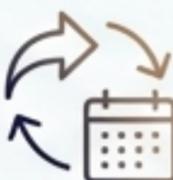
- NEC「cotomi」：三井住友海上火災保険にて保険金支払い査定業務へ本格導入。

産業別採用事例（2/2）：現場オペレーションとDXを加速させる 医療・製造・小売への展開

[医療・ヘルスケア]



• **NTT「tsuzumi」**：電子カルテの要約、論文検索、診断支援による医療従事者のタスク効率化。



• **Fujitsu LLM**：2026年度診療報酬改定に伴うソフトウェア修正作業の自動化サービスを展開。

[製造・小売]



• **PFN**：産業用ロボットの高度な制御および製品ライフサイクル管理（PLM）システムへのLLM統合。



• **NTT「tsuzumi」**：コンタクトセンターの応答支援や、店舗サービスロボットの対話エンジンとして稼働。

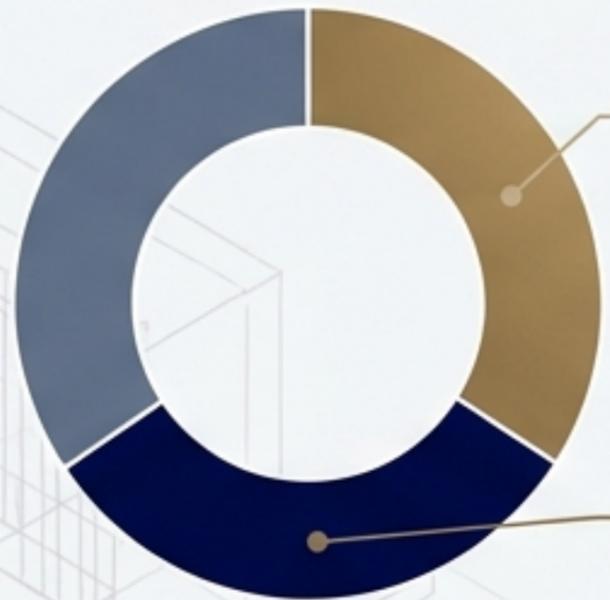
ケーススタディ：NTT「tsuzumi」が証明した 軽量・特化型モデルの圧倒的な市場牽引力

1,800件超

累計受注件数（2025年度第1四半期時点）

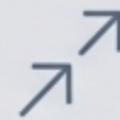
5,000億円

2027年度の関連サービス売上目標



 35.1%：公共分野（政府・自治体からの強い信頼）

 36.4%：1,000億円未満および非上場企業（SMB）



巨大資本を持たない中堅・中小企業に対しても、低コストで導入可能な「軽量モデル」の強みが完全に合致し、AI市場の裾野を劇的に拡大させている。

構造的逆風：社会実装の裏に潜む、フロンティア開発における「ドゥーム・ループ」

Japan's AI problem is not a resource problem. It is not a policy problem. It is a system problem, and the system is a doom loop. It begins with how Japan builds its workforce. The lifetime employment model produces 'generalist workers without specific areas of expertise'. Frontier AI research requires precisely the opposite: obsessive specialization..."

— Julien Simon, AI Expert

・ 専門人材の育成阻害：終身雇用制が生む「ジェネラリスト」偏重の企業文化。

・ 人材流出リスク：海外との深刻な報酬格差。

・ ハードウェア中心の成功体験：ソフトウェア・人材中心のAI時代においては逆に弱みとして作用。

ジレンマの克服：短期的なDX推進と長期的な研究開発能力の 研究開発能力の底上げを両立するロードマップ

現在～中期

社会実装のさらなる深化



- 特定業務（公共・金融・医療）でのコスト効率の高い特化型LLMの導入加速。
- 労働力不足の緩和と即時的な生産性向上（DX）の実現。

長期

産学官一体での構造改革

- 国際的競争力を維持するためのフロンティア領域の研究開発。
- 硬直的な組織文化の打破と、極度な専門性を持つAI人材の育成・評価システムの構築。



結論：日本のLLM市場は、制約を逆手にとった極めて高度な「適応の物語」である

独自市場の確立

グローバルな力技の競争を避け、「データ主権」「特定ドメイン」「軽量化」という明確な差別化により、1兆円超の堅牢な国内市場を築き上げた。



社会課題解決のインフラ

労働力不足という国家的危機に対し、LLMは単なる最先端技術ではなく、社会と経済を維持するための必須インフラとして機能している。



次なる課題

今の「社会実装」の成功に甘んじることなく、専門人材を阻む構造的課題（雇用の流動性・評価制度）を改革できるかが、次の10年の国際競争力を左右する。

